

岡山市ジェンダー統計 岡山市の女性と男性2022

岡山市は、男女共同参画社会の推進に向けて、社会的文化的男女間の格差（ジェンダーギャップ）の解消を目指しています。そこで、どの分野で、どのくらいの格差があるのかを目に見える数値（ジェンダー統計）で表してみると、何が問題・課題なのかをより明確に把握できるのではないかと考えました。国では5年に一度、国勢調査が行われています。岡山市も男女共同参画の視点による各種調査を実施しています。そこで、それらの調査結果を基に、市民の視点でジェンダー平等社会の進捗状況を見える化したいと考え、岡山市ジェンダー統計リーフレットを作成しました。

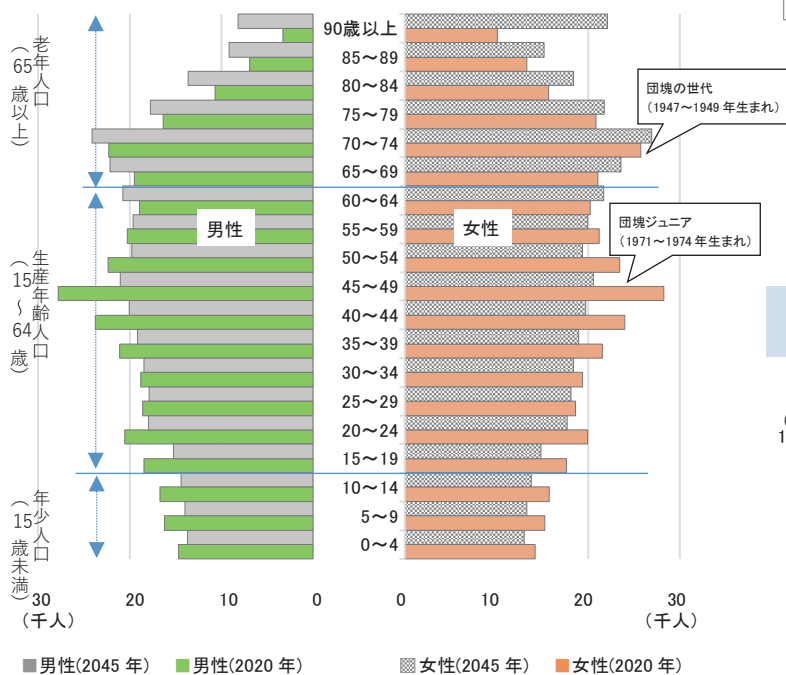
この試みは、岡山市と市民グループとの協働によるもので、2009年4月政令指定都市になって以降、2012年、2017年に続き今回で3回目となります。この統計を見て、ジェンダー平等の実現に向けて何をすればよいのかを考えていただけたらと願っています。

なお、図中の目標値は『岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する基本計画(第5次さんかくプラン)』で定められたものです。

A 人口・世帯

A-1 少子高齢化は進み、2045年には男性の29%、女性の35%が65歳以上となる予測

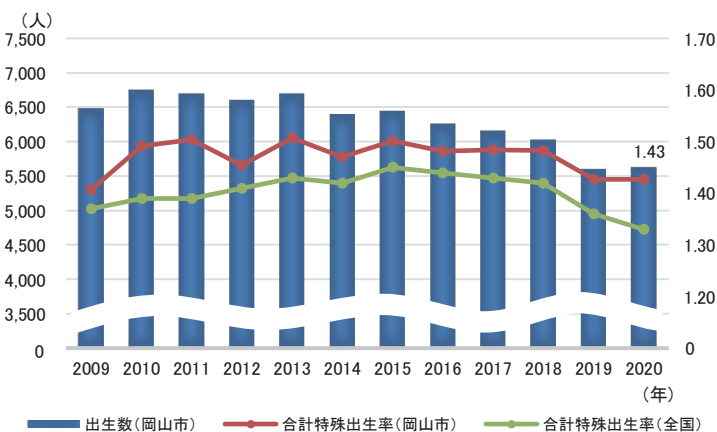
図1 性、年齢階級別人口と将来推計人口（岡山市、2020年、2045年）



出所 総務省統計局『令和2年国勢調査』
国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口』

A-2 減少傾向が続く出生数と伸びない合計特殊出生率

図2 岡山市・全国の合計特殊出生率と岡山市の出生数の推移（2009～2020年）

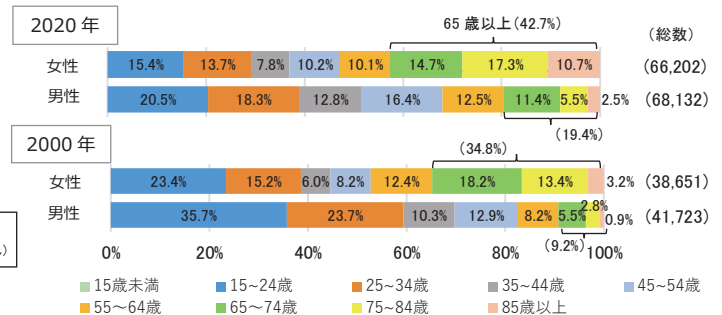


注 岡山市合計特殊出生率は小数点第3位を四捨五入
出所 厚生労働省『人口動態統計』
岡山市保健福祉局『保健衛生年報』、奈義町ホームページ

「子育て応援宣言のまち」
岡山県勝田郡奈義町は2019年に
合計特殊出生率2.95到達！

A-3 女性単独世帯のうち高齢者（65歳以上）の割合は42.7%と半数近い

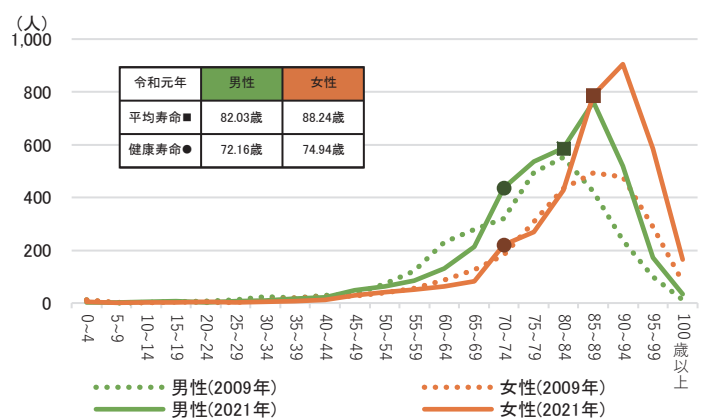
図3 性、年齢階級別単独世帯割合（岡山市、2000年、2020年）



注1 2020年は総数に不詳を含む
注2 2000年は岡山市のデータに御津町、建部町、瀬戸町、灘崎町を組み入れている
出所 総務省統計局『平成12年国勢調査』『令和2年国勢調査』

A-4 死亡数について、女性は90～94歳が一番多く、男性は85～89歳が一番多い

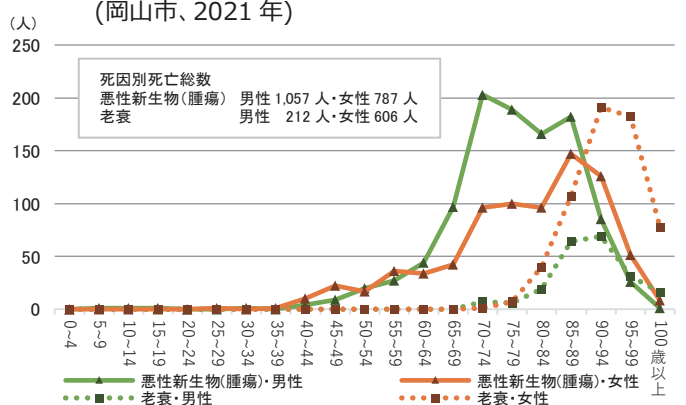
図4 性、年齢階級別死亡数（岡山市、2009年、2021年）



注 平均寿命・健康寿命は国民生活基礎調査のデータをもとに岡山市が算出した
出所 厚生労働省『人口動態統計』

A-5 悪性新生物による男性の死亡数は65歳から急激に増えはじめ、70～74歳でピークを迎える。総数は女性の1.3倍

図5 性、年齢階級、死因（悪性新生物・老衰）別死亡数（岡山市、2021年）

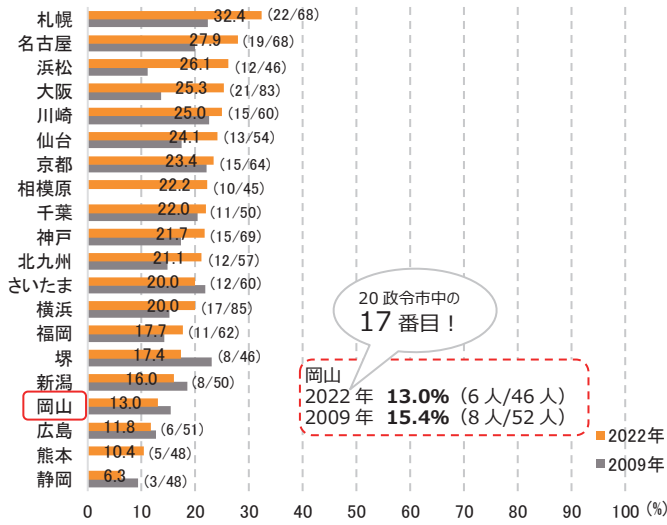


出所 厚生労働省『人口動態統計』

B 政策・方針決定

B-1 岡山市議会議員に女性は13%しかいない

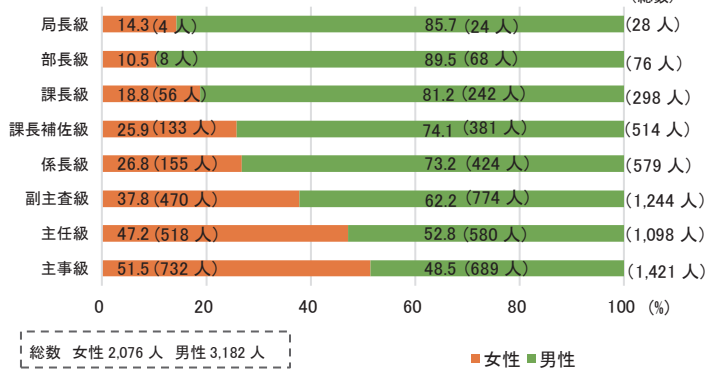
図6 政令指定都市における議員の女性割合(2009年、2022年)



注1 ()内は2022年の女性議員数/議員総数
 注2 相模原市は2010年、熊本市は2012年に政令指定都市に移行した
 出所 岡山市議会事務局調べ(令和4年11月1日現在)
 内閣府男女共同参画局調査研究等年次調査『地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の進捗状況』平成22年度報告書

B-2 女性割合は役職が上がるに従って低下している 2026年度の課長級以上の目標値は20%

図7 岡山市一般職員の性別役職者の割合(2022年)

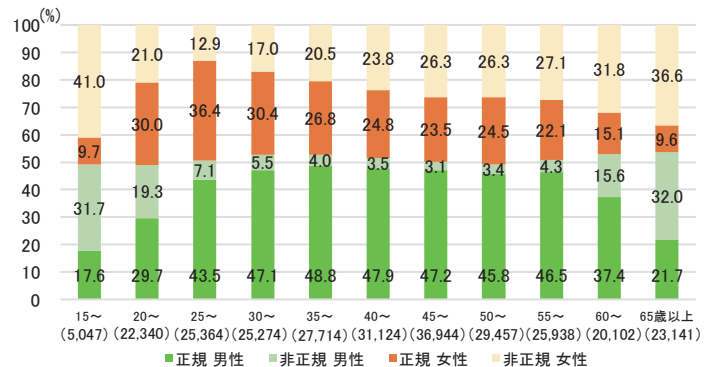


出所 岡山市『女性の職業選択に資する情報の公表』令和4年4月1日現在、『第5次さんかくプラン』

C 女性の就業と女性をとりまく社会環境

C-1 45歳を過ぎると女性の半数以上が非正規、25~59歳までの男性はおよそ9割が正規である

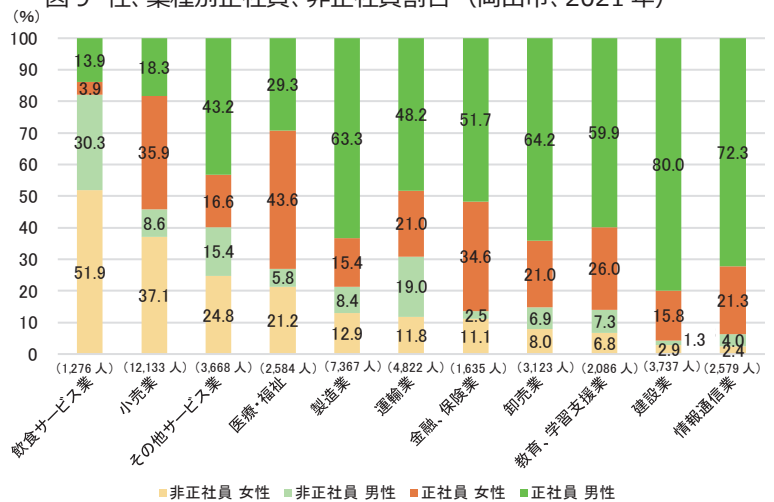
図8 性、年齢階級別、正規・非正規就業者割合(岡山市、2020年)



注 ()内は男女雇用者総数
 出所 総務省統計局『令和2年国勢調査』

C-2 飲食サービス業は非正社員が多く、特に女性は5割を超える 女性の正社員割合は医療・福祉が一番多いが、それでも4割

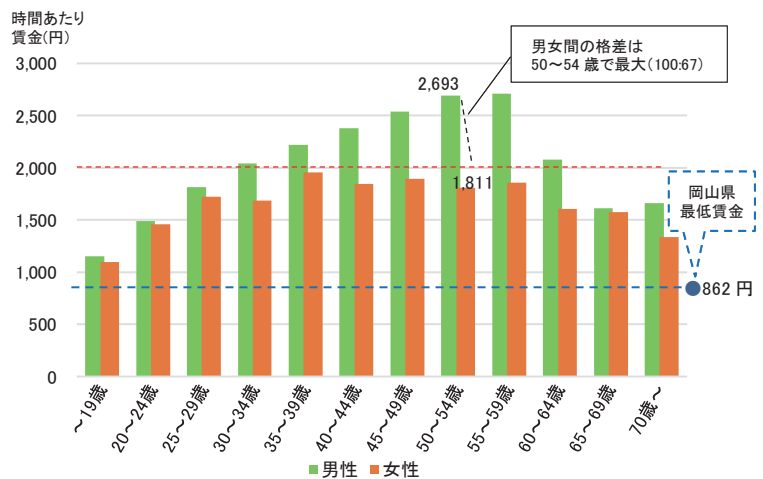
図9 性、業種別正社員、非正社員割合(岡山市、2021年)



注1 調査対象は岡山商工会議所、岡山市北・岡山西・岡山東・赤磐商工会に属する従業員10人以上の企業2,213社(回収509社) 従業員総数(役員含む)49,522人
 注2 従業員総数(役員含む)が1,000人未満の業種、その他を除く
 注3 正社員には管理職を含む
 出所 岡山市女性が輝くまちづくり推進課『岡山市女性活躍及びワーク・ライフ・バランスに関する調査』令和4年3月

C-3 時間あたり賃金の男女格差は50歳代で最大。女性は35~39歳が最高だが、男性には届かず2,000円に満たない

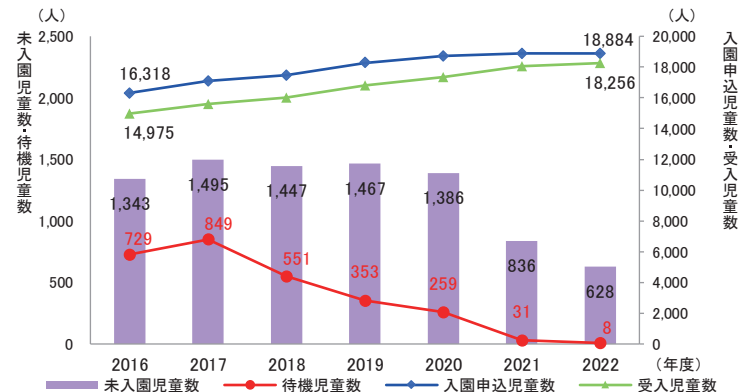
図10 性、年齢階級別きまって支給する現金給与額と賞与他合計の時間あたり賃金比較(岡山県、2021年)



出所 厚生労働省『令和3年賃金構造基本統計調査』、『地域別最低賃金の全国一覧(令和3年度)』

C-4 2022年度の未入園児童数は628人、うち待機児童数は8人になった。2026年度の目標値は「0人」

図11 認可保育所等入園申込児童数と未入園児童数の推移(岡山市、2016~2022年度)



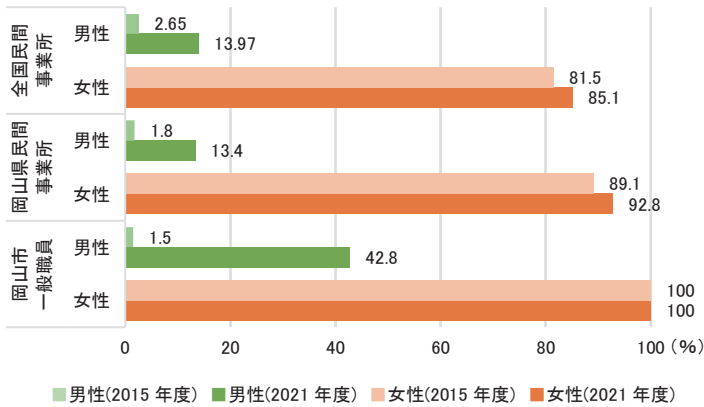
注1 児童数は4月1日時点における数値
 注2 待機児童数は未入園児童数の内数
 出所 岡山市就園管理課『保育所等入園申込児童数の推移』、岡山市『第5次さんかくプラン』

D ワーク・ライフ・バランス

D-1 伸び始めた男性の育児休業取得率、岡山市職員男性の2025年度目標値は50%

図12 育児休業取得率

(民間事業所・岡山市一般職員、2015年度、2021年度)



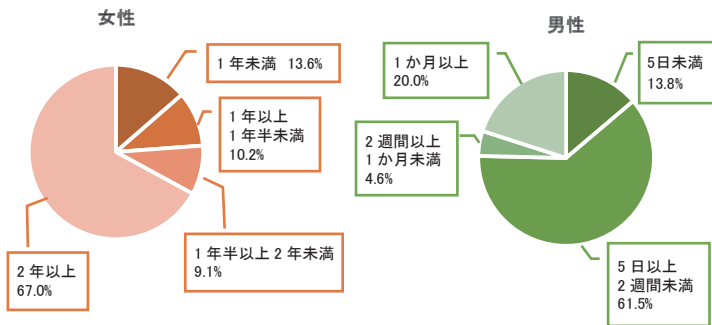
注 育児休業は1日から取得可能

出所 厚生労働省『雇用均等基本調査』平成27年度・令和3年度

岡山県『仕事と家庭の両立支援に関する調査結果報告書』平成27年度・令和3年度
岡山市『女性の職業選択に資する情報の公表』、『第5次さんかくプラン』

D-2 男性の育児休業取得率は向上したが、約14%が5日未満、75%が2週間未満と取得期間は依然短い

図13 岡山市一般職員における男女別育児休業取得期間の状況 (2021年度)

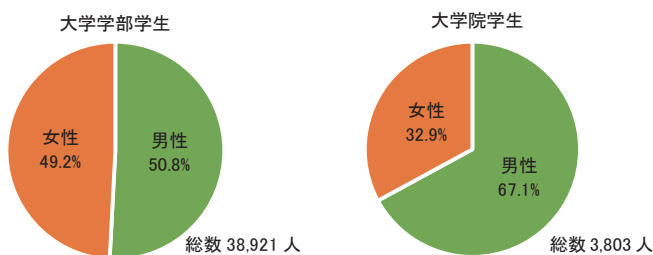


出所 岡山市『女性の職業選択に資する情報の公表』

E 教育

E-1 大学院学生は、男性が女性の2倍

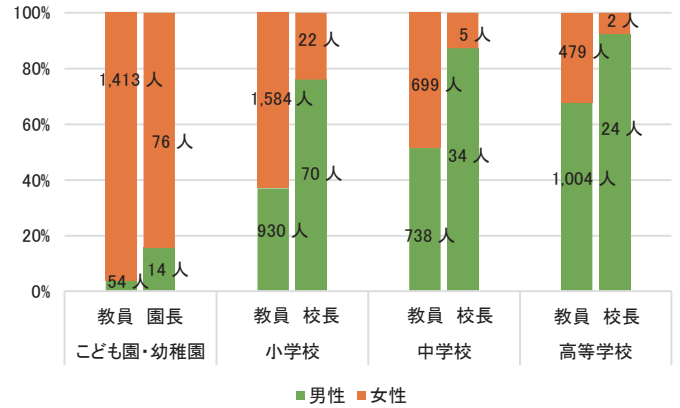
図14 岡山県に所在する大学学部生・大学院学生の男女割合 (2022年度)



注 大学学部学生数は在籍する学部所在地による
大学院学生数は在籍する研究科所在地による
出所 文部科学省『令和4年度学校基本調査』

E-2 就学前・初等教育は主に女性が担い、高等教育は主に男性が担っている。圧倒的に、園長は女性が多く校長は男性が多い

図15 岡山市に所在する学校の教員、園長・校長の男女比 (2021年度)



注1 こども園は幼保連携型認定こども園

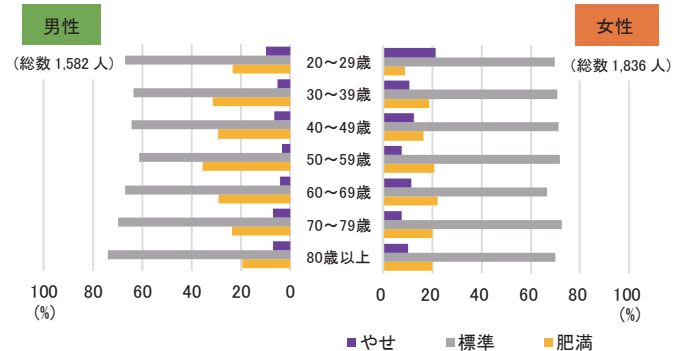
注2 教員には園長、校長を含む

出所 文部科学省『令和3年度学校基本調査』

F 健康

F-1 20代女性のやせは20%を超えており、他の年代の女性と比べ顕著である

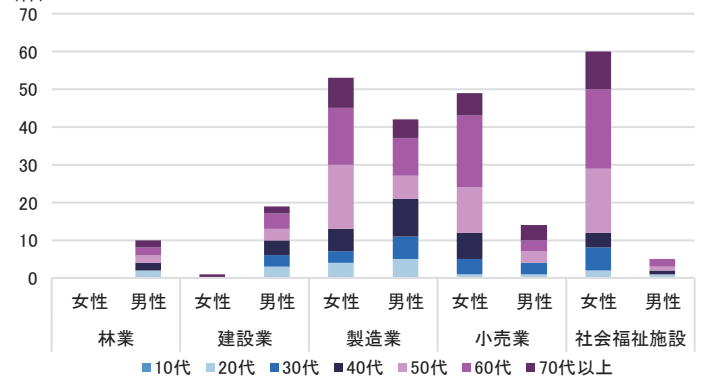
図16 性、年代別肥満・やせの状況 (岡山県、2021年)



注 調査対象は県内27市町村すべてから抽出、20歳代~80歳代は各年代、男女それぞれ、20人ずつ、合計280人を住民基本台帳から無作為に抽出し、全県で7,560人を対象とした(協力率47.8%)
出所 岡山県健康推進課『令和3年度県民健康調査結果』

F-2 転倒による労働死傷災害は製造業、小売業、社会福祉施設では50代以上の件数が特に多く、年齢が高いほど、男性に比べて女性の方が多く被災している

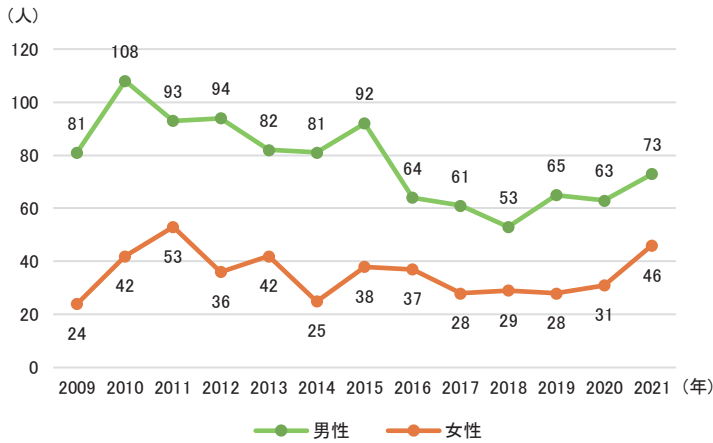
図17 労働死傷災害(休業4日以上)のうち 転倒の性、年代、業種別発生状況 (岡山県、2021年)



注 業種は第13次労働災害防止推進計画における重点業種
出所 岡山労働局調べ

F-3 2016年から減少傾向にあった自殺者数が2021年は男女とも増加、特に女性は前年比1.48倍

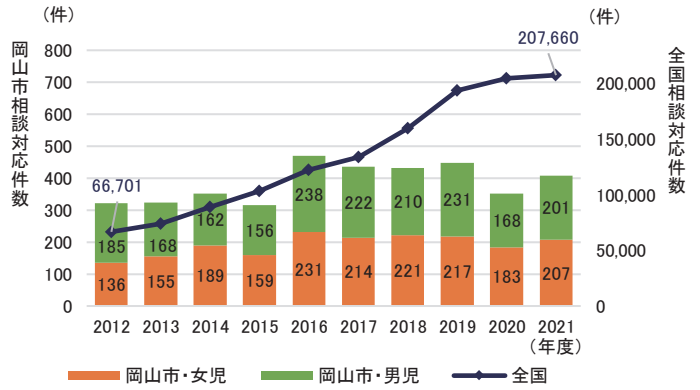
図18 性別自殺者数の推移（岡山市、2009～2021年）



出所 厚生労働省『地域における自殺の基礎資料』

G-3 全国では増加傾向の児童虐待相談対応件数が、岡山市では横ばいで推移している

図21 児童相談所における児童虐待相談対応件数（岡山市・全国、2012～2021年度）

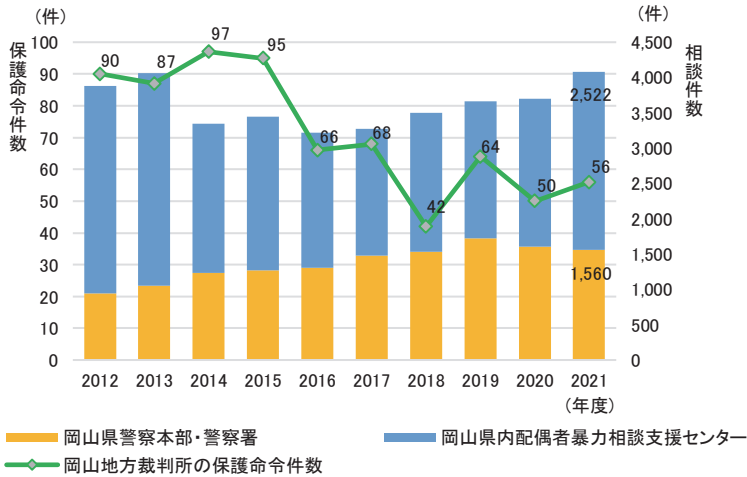


出所 岡山市こども総合相談所調べ
厚生労働省『福祉行政報告例の概況』

G 子ども・女性への暴力

G-1 DV相談件数は、依然高水準で推移している

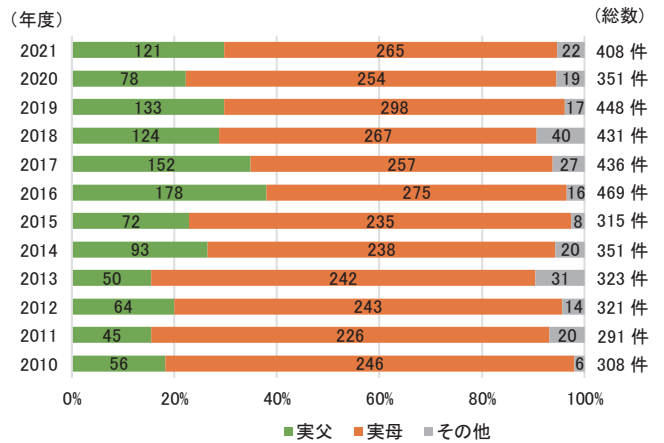
図19 DV相談件数と裁判所の保護命令件数（岡山県、2012～2021年度）



出所 岡山県『男女共同参画に関する年次報告書』

G-4 主たる虐待者は実母割合が高い。10年前と比較すると実父の割合も増えている

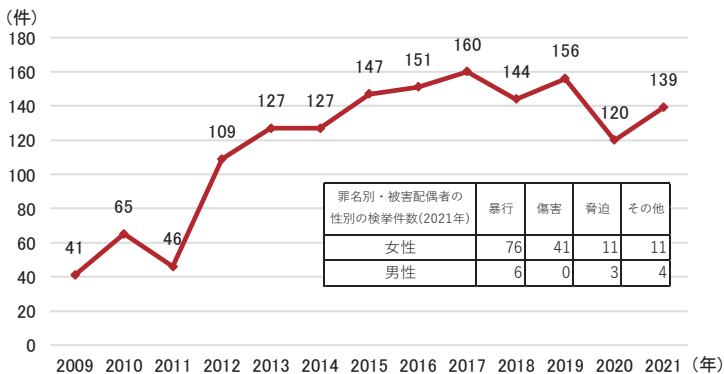
図22 虐待相談対応の主たる虐待者別割合の推移（岡山市、2010～2021年度）



出所 岡山市こども総合相談所調べ

G-2 配偶者間暴力における被害者は圧倒的に女性。被害件数は高水準で推移している

図20 配偶者間暴力における女性の被害件数（岡山県、刑法犯のみ、2009～2021年）



罪名別・被害配偶者の性別の検挙件数(2021年)	暴行	傷害	脅迫	その他
女性	76	41	11	11
男性	6	0	3	4

注「配偶者」には内縁関係も含む
出所 岡山県警察本部刑事部刑事企画課調べ

令和4年度市民協働事業
『岡山市ジェンダー統計 岡山市の女性と男性 2022』リーフレット
発行 ジェンダー統計を語ろうかい・岡山市
助言 小野寺剛（九州国際大学教授）

2023年3月

■問い合わせ先■
岡山市男女共同参画社会推進センター「さんかく岡山」
〒700-0822 岡山市北区表町三丁目14番1-201号
TEL 086-803-3355 FAX 086-803-3344
E-mail sankaku@city.okayama.lg.jp